

年 新 賀 謹



甲賀市議会議長 伴 資男



甲賀市長 中嶋 武嗣

市民皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととおよろこび申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月には市内3か所目となる新名神高速道路甲南インターチェンジの供用が始まるなど明るい話題があった一方で、景気後退による雇用不安や新型インフルエンザなど、前例のない課題にも対応を迫られました。うれしい時には喜び合ひ、困った時にはご理解とご協力をいただき、市民皆様と共に乗り越えた一年であったと感謝しております。

その原動力となっているのは、私たち甲賀市の長い歴史に培われてきた助け合いの心「結いの精神」ではないかと私は実感しており、10年先、20年先の私たちの子や孫の時代においても、こうした地域愛や郷土愛が生き続け、市民皆様一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを本格的に取り組みを始める時期が到来したものと考えております。

その一つとして、多種多様な課題を抱える市内の自治区(会)が連携して補い合い、行政も今よりもっと近くで市民の皆様と関わっていくことにより、薄れかけた地域の共生の力が高められ、甲賀市全体がもっと元気になれるものと確信しています。このためには自治区(会)を越えた概ね小学校区を単位とする広域コミュニティ組織を創設し、これまでの行政主導による区・自治会の縦割り関係から対等な立場で、市民皆様と行政が共にまちづくりに取り組み、市内地域への分権を進めてまいります。こうした手法は先進例になると思われませんが、地域力を高めることは地方自治の原点であり、近い将来には必ず全国各地で同じ動きが出てくるものと思います。

不透明な時代にあってこそ、まちづくりのモデルを創っていくのは私たちです。そのための手法として、これまで以上に経費の無駄を省き、また、これまでも実施してまいりました特別職を含めた職員給与等の独自削減もさらに強めると共に、限られた財源をより必要な予算に効果的に充当し、今年も市民皆様に共感していただける市政運営に情熱を注いでまいります。甲賀市の将来をより確かなものにするため、市民皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかに希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からおよろこび申し上げます。

甲賀市は、そのよき伝統と市民各位の絶大なご協力により、年々たゆむことなく前進を続け、昨年は市制施行5周年という節目を迎えることができました。また、待望の甲南インターチェンジの供用開始で、新名神高速道路の開通以来、全国的にもまれな市内3か所のインターチェンジをはじめ、多くの方にご利用いただいておりますサービスエリア、パーキングエリア等々、甲賀市の経済発展や観光振興等に絶好の条件が備わったことにより、あらゆる方面での積極的な情報発信や取り組みが望まれます。甲賀市の今後さらなる発展に大いに期待するところであり、あります。

さて、中嶋市政も2期2年目の市政運営となるわけですが、地方分権の進展に伴い、地方自治体をとりまく環境は日々刻々と変化しており、困難な財政事情のもとにありながらも、市民にもっとも身近な行政として、市の果たす役割はこれまでに以上に重要なものとなってまいりました。今まで培われた行政手腕を発揮し、市長がめざされる甲賀市の姿「エクセレント・ガバナンス」に向かっての市政運営を望むところであります。

市議会といたしましても、二元代表制のもと、行政に対するチェック機能を強化するとともに、政策立案能力を高め、執行機関と活発な政策論議を行い、これまでに以上に積極的な議会活動に努めることが肝要と考えております。めまぐるしく変化する社会情勢の中では、ご意見が、市民の皆様と連携を一層密にし、市政発展のため、さらに努力してまいりる所存でございますので、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、甲賀市の限らない発展と市民皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申しあげ、年頭のごあいさつといたします。